

平成 26 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2014年4月～2015年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表
します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満
たないもの、報告書が2年連続して未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧
告させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 国立大学法人 奈良教育大学
 種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中高一貫教育
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他 ()
 住所 〒630-8528
奈良市高畑町 奈良教育大学
 E-mail : soumuka@nara-edu.ac.jp
 Website : http://www.nara-edu.ac.jp/
 児童生徒数：男子 647名 女子 740名 合計 1,387名
 児童・生徒の年齢 18歳～24歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

【学ぶ喜び・ESDプロジェクト】

①ユネスコスクール推奨授業科目

人権と教育、生涯学習概論Ⅰ・Ⅱ、生涯教育計画特講Ⅰ・Ⅱ、生涯教育演習、日本国憲法、キャリア形成と人権、教育人権アプローチ特講、教育人権アプローチ演習、生涯教育文化特講、肢体不自由教育方法、校外学習指導特講、文化遺産芸術学演習Ⅰ・Ⅱ、ユーラシア美術史、アジアの中の日本美術史、地域文化論、地域生活論、食育と生活、持続可能な開発のための教育と世界遺産、持続発展教育と文化遺産、持続可能な開発のための教育（ESD）概論、造形芸術学特講

②総合的な連携・協働による実践的指導力の育成

- ・陸前高田市文化遺産調査団：文化遺産教育・防災教育
- ・ESD子どもキャンプ：文化遺産教育・平和教育・野外活動

③地域の教育委員会との連携・協働による教員養成の充実と現職研修プログラムの開発

- ・ESD連続セミナー（10回）：ESDの理論研究・教材開発
- ・ユネスコ学生交流事業：玉川大学・信州大学

④地域の学校との連携・協働による地域の学校での校内研修に対する支援活動

- ・奈良ASPネットワーク連絡会議：ESD研修会・ネットワーク維持
- ・地域の学校のESDへの支援活動：野外活動・ICT支援

⑤生涯教育を視野に入れたESDの推進・ESDセンター校的機能の充実

- ・ESD先進地視察

【奈良ESDコンソーシアム事業】

①ユネスコスクールの学校間交流支援

- ・奈良市、彦根市、橋本市、橿原市の小学校の交流：計9校
- ・奈良市中学校生徒会合同リーダー研修会：11校

②ユネスコスクール以外で学校でのESD活動の推進

- ・ESD研修会の開催：4回
- ・学ぶ喜び・ESD連続公開講座の開催：10回
- ・橋本市ESD連続セミナー：5回
- ・学生・教員合同ESD教材開発研修会：10回

③社会教育施設・青少年教育施設との連携

- ・文化遺産教育ワーキングの開催：3回

④成果発表会の開催

- ・奈良ESDコンソーシアム連絡会議：3回
- ・成果発表会

⑤都道府県教育委員会との連携

- ・県立教育研究所“教育セミナー2014”での講演
- ・高大連携におけるESD講義

⑥生涯教育におけるESDの推進

- ・教育と観光の融合：ESD実践モデル全国会議2014「歴史文化遺産とESD」
- ・ESD企業向け講演会の開催

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（

）